

委員会行政視察報告書

平成26年 / 月 23日提出

井原市議会議員 宮地俊則様

報告者

委員会 広聴広報委員会

委員長 上野安是

期 間	平成26年1月16日(木)～平成26年1月17日(金)
出張先及び 担当職員 職名・氏名	広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大島英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名	上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目	議会だよりの編集・発行について
○広島県 坂(さか)町議会(議会広報調査特別委員会) ①発行回数 一年4回(定例会ごと) ②発行日 一定例会終了後の翌月1日発行 ③規格 一、2色刷り(表裏はカラー) 年1回は全面カラー ・平均18ページ ④編集体制 一、委員7名 ・写真撮影は委員で ⑤編集作業 一、定例会終了翌日から約4日間 ⑥記事 一、一般質問については質問は質問者から ・答弁は担当委員からまとめ ・文体は「てみる調」で統一	

1. 報告書は、視察・研修終了後2週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

・企画記事として

・議会クイズ

・子らの声の聞えろ

・あリゃあどうな、たんかいのおー(一般質問の追跡)

・議会傍聴記

○ 福岡県 香春(かわら)町議会 (議会広報常任委員会)

① 発行回数 一年4回

② 発行日 定例会終了後の翌月末

③ 規格 全面カラー 14~16ページ

④ 編集体制 委員6名

・写真撮影は委員で

⑤ 編集作業 校正・編集を週1回(3回)

⑥ 記事 一般質問については、質問・答弁ともに質問者がまとめる。(1人1ページ)

・文体は「でみる調」で統一

・主見出し、中見出しが必要

・企画記事として

・かわら、あれこれ(町の行事・祭事など)

・追跡、あれはどうな、たん(一般質問の追跡)

・読者の声

所感

どちらの町議会も 企画記事、紙面展開、レイアウトなど編集がすばらしく、「親しみのあふ、読みやすい」広報誌づくりをされていた。

企画記事も含め、「暖かみがあり、読みやすい」有報誌
とでき子だけタイラーに発行できよう。引き続き 研究と
工夫をしていきたい。

以上。

委員会行政視察報告書

平成 26 年 1 月 31 日提出

井原市議会議長 宮地 俊則 様

報告者

広聴広報委員会 三輪 順治

期 間	平成 2 6 年 1 月 1 6 日（木）～平成 2 6 年 1 月 1 7 日（金）
出張先及び 担当職員 職名・氏名	広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大島英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名	上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目	議会だよりの編集・発行について

1. 広島県坂町議会

2014. 1. 16（木）

- ・発行は、議会終了の翌月 1 日(昭和 63 年 1 月号からずっと今日まで)・・・井原市
議会の仕組みとして、この点のまねはできない。
- ・編集方針・・・より住民に親しまれ、わかりやすい広報誌づくり・・・この点は同感。
- ・企画記事(各号)
 - 議会クイズ
 - まちの声が聞こえる
 - 「ありゃあどうなったかいのぉー」(一般質問の追跡調査)
 - 議会傍聴記・・・町内の全小学 6 年生の授業の一環としての位置づけこれらの企画記事の歴史は長く、住民にとっての「待ち遠い」議会だよりと
しての側面あり。また、小学 6 年生、いはば、二分の一「成人式」の子どもたち
にとっては、議会を傍聴することが生きた授業としての意味にとどまらず、議員
や議会の役割等について、キャリアアップにつながっている。(保護者にも影響
を与える場合もあるかもしれない。)
- ・一期議員(新人)は必ず「広報」(議会広報調査特別委員会)の委員となること。
- ・委員の議会開催月の仕事は、少しきつい。(編集作業を例に、昨年 12 月の場合、

本会議終了後、翌週の4日間、9:00から17:00まで、集中開催。)

- ・納品までの作業はすべて議員で行っている。
- ・町村議会広報全国コンクール過去の受賞歴

入賞 平成18年度

奨励賞 平成19、20、22年度

2. 福岡県香春町議会

2014.1.17(金)

- ・発行時期・・・定例会終了後の翌月末(40日以内の発行)
- ・紙面の工夫・・・写真を多く採用。特に、子どもたちの写真を効果的に活用。
- ・企画記事

○「かわら あれこれ」

○「追跡 あれはどうなったん」(一般質問の追跡記事)

○「読者の声」

※このほか、紙面づくりのため、全国規模や県単位での研修会に積極的に参加。

⇒全国から応募された議会だよりを審査する「審査委員」によるアドバイス等をうけて、日々研鑽しておられた。

<視察を通しての所感>

『行政の「広報」と「議会だより」との決定的な違いは、後者においては、「事実」を淡々と「市民にお知らせ」することにとどまらず、市民の知りたいところをしっかりと書き切ることではないか。

提案された議案の持つ意味・意義と、これが市民に与える影響などをもう少し掘り下げて書くべきではないのか、関連する国や県の動き、今後の見通しなどにも触れていいのではないか、また、この議案に対する「井原市議会」としての「機関意思」は「議決」という結果となったが、その背景には「こんな悩ましい、苦渋の思いがあったこと」などが書ければ、読者としての市民に「議会の思い」が伝わるのではないか、ということである。

つまり、「単なるお知らせ」の枠を超えた「その先に見える市民の暮らし、地域のあり方」など、市民の真に知りたいことを的確に報じることではないか、と思った。

現在の多くの議会だよりは、議員と執行部との質疑のやりとりを中心として編集

しており、たいていの場合、質問した議員の顔写真を掲載している。

「言論の府」としての議会であるからこそ、執行部の行政運営の方向性、手法、先見性等を議論し、市民の代表としての行政チェック機能が問われている。

ここには、議員定数、報酬のあり方も絡んでくる。「議会だより」の果たす役割を検討しなければならない。

市民の目線として、議会(議員)が何やっているかわからない、といった疑問にも応えなければならない。

歴史を刻んでいる「井原市議会」の「議会だより」を一気呵成に大改造することは出来ないが、学んだことを糧として、今後の編集に活かしていきたい。

以 上

1. 報告書は、視察・研修終了後2週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

委員会行政視察報告書

平成26年 1月24日提出

井原市議会議長

様

報告者

西村 慎次郎

委員会 広聴広報委員会

期 間	平成26年 1月16日（木）～平成26年 1月17日（金）
出張先及び 担当職員 職名・氏名	広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大島英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名	上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目	議会だよりの編集・発行について

■広島県安芸郡坂町（10:00～12:00）

1. 坂町議会広報の概要

○委員会の名称：議会広報調査特別委員会

○広報誌の名称：議会だより さか ひろしま

○発行回数：定例会ごと年4回

○発行日：定例会終了後の翌月1日発行

○発行部数：5,800部（7,10,1月発行分）、6,400部（4月発行分）

○規格：A4版オフセット印刷2色印刷（表裏カラー）、平均18ページ

○編集体制：定員8名（発行責任者：議長、正副委員長：委員の互選、任期：2年）

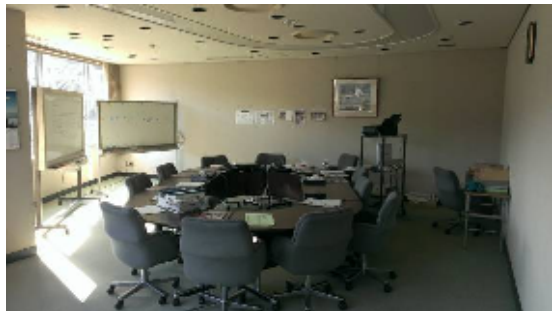
○基本方針：より住民に親しまれ、わかりやすい広報誌づくりを目指している

○議事全体の記載ルール

・文体は「である調」で統一

○一般質問記事のルール



・ 質問は質問者が 100 文字以内にまとめる	
・ 答弁は委員がまとめる	
・ 委員は自らの一般質問は担当しない	
・ 質問 1 問を半ページ 顔写真とあわせて掲載	
・ 2 問目の質問からは顔写真を掲載しない	
○写真について	 議会広報調査特別委員会編集室
・ できるだけ人物を入れた写真とする	
・ キャプション（写真説明）を入れる	
○企画記事について	
・ 議会クイズ	
・ まちの声が聞こえる	
・ ありゃあどうなったんかいのおー（一般質問の追跡調査）	
・ 議会傍聴記	
2. 広報誌発行までのスケジュール	
① 本会議前後に委員会を開催、内容、編集方針、担当を協議	
② 本会議と並行し、一般質問提出者へ原稿依頼など準備作業	
③ 編集作業	
・ 定例会の翌日から約 4 日間（9 時～16 時）	
・ 一般質問のとりまとめ、各記事のレイアウト	
・ 原稿の作成はパソコンで行う	
・ 写真撮影	
④ 4 日目に印刷業者に入稿（16 時）	
⑤ 委員全員による校正（2 回）	
・ 最終校正は委員長、副委員長、事務局で行う	
⑥ 納品まで約 20 日（議会翌月 1 日発行）	
3. 意見交換	
○議会翌月 1 日発行のからくり	

・ 議会の期間が 2 日間（9 月、3 月は 5 日間）
・ 議会の日程が広報誌作成日程に合わせて決まる
・ 一般質問の前に答弁書の閲覧が可能となっている
・ 記事に対する広報委員の権限がある
○記事作成ソフト・・・Microsoft Word
○パソコンの操作教育
みんなで助け合って作成（メイン、サブの 2 名担当）、テンプレートを用意している
○議会クイズについて
・ 議会だよりを読んでもらうために有効
・ 1 回あたり 30～40 名の応募あり
○子供たちが傍聴に来るしくみ
・ 町内 3 つの小学 6 年生が、3 月・9 月・12 月に一般質問を傍聴に来る
・ 一般質問も再質問は 5 回までと決まっており、2 時間で 7 問程度進む
○井原市の議会だよりに対するご意見
・ 「である調」で統一しては。統一感がない。
・ 広聴広報委員にもっと権限を持たせるべきでは。
・ 市民の声をもう少し載せてみては。議会だよりの内容が堅い。
・ 市民目線でどうすべきか考えるべき。
■福岡県田川郡香春町（10:00～12:00）
1. 香春町議会広報の概要
○委員会の名称：議会広報特別委員会
○広報誌の名称：議会だより かわら
○発行回数：定例会ごと年 4 回
○発行日：定例会終了後の翌月末発行
○発行部数：4,650 部
○編集体制：委員 6 名（3 常任委員会から各 2 名、任期：2 年）



○議事全体の記載ルール
・ 質問、答弁ともに質問者が 1125 文字以内でまとめる
・ 質問者一人につき 1 ページを割り当て顔写真と合わせて掲載
・ 主見出し、中見だしをつける
・ 表紙の写真にはできるだけ人物を入れるようにする
・ 行政用語は一般住民がわかりやすい文言にする
・ 文体は「である調」で統一
○企画記事について
・ かわら あれこれ（町の行事、祭事、議会活動の紹介）
・ 追跡あれはどうなったん。（一般質問の追跡）
・ 読者の声
2. 広報誌発行までのスケジュール（2013年12月議会の場合）
・ 12月4日（水） 議会初日
・ 12月9日（月） 議会最終日 議会だよりの作成日程を調整
・ 12月13日（金） 一般質問者に原稿を渡す
・ 12月20日（金） 広報委員会割当て
・ 12月24日（火） 一般質問者原稿締切
・ 1月8日（水） 広報委員会 校正、編集
・ 1月15日（水） 広報委員会 校正、編集
・ 1月22日（水） 広報委員会 校正、編集
・ 1月23日（木） 議長決裁
・ 1月27日（月） 印刷
・ 1月30日（金） 納品
・ 1月31日（土） 各家庭配付
3. 意見交換
○広報誌の編集について
・ 編集は印刷会社が行っている。経費が増えている。

・写真（特に子ども）を多く使っている。読者を増やすため。
・子どもの写真は平等に載せるように工夫している。
・議員の写真は実際の一般質問中の写真を掲載している。
○印刷会社との契約について
・1回18ページで年間契約。実際のページ数に応じて年1回変更契約をしている。
・3社の指名競争入札で1社に決めている。
■所感■
2つの町ともに、広報誌に対して素晴らしい取り組みをされていました。
どちらの広報誌も写真の使い方を工夫され、町民に見ていただける広報誌づくりに取り組んでいらっしゃいました。
坂町においては、広報誌の翌月1日発行を目指して、議会日程が決まるという驚きの内容でした。ただ、写真の使い方、表現の統一化、見出しの付け方など勉強になるところがたくさんありました。また、広報委員の任期は2年ですが、1期生の議員は4年間するというようにされているようで、自分自身も広報委員をさせていただいて良いことだと感じているところです。
香春町においても、広報委員が中心に広報誌を作成されており、子どもの写真を多く入れて、読者を増やす努力をされているところは参考になりました。ついでの視察ではありましたが、小学校運動場を芝生化しているところを視察させていただき、維持管理の大変さと芝生の良さの両方を感じてきました。
視察を踏まえて、井原市の広報誌の改善検討をしてはと感じたのは次のとおりです。
・写真を多くして、見たいな・読みたいなと思っただけの内容にする
・議会クイズなど市民の声が聴けるようなしくみづくりをする
・文言など統一感のある記載内容にする
・ページ数に拘らず、市民の読みたい記事・議会が伝えたい記事を広報誌に盛り込む
以 上

1. 報告書は、視察・研修終了後2週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

委員会行政視察報告書

平成26年1月24日提出

井原市議会議長

様

報告者

委員会 広聴広報委員会 荒木 謙 二

期 間	平成26年1月16日（木）～平成26年1月17日（金）
出張先及び 担当職員 職名・氏名	広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大島英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名	上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目	議会だよりの編集・発行について

■広島県安芸郡坂町（10:00～12:00）

1. 坂町議会広報の概要

○委員会の名称：議会広報調査特別委員会

○広報誌の名称：議会だより さか ひろしま

○発行回数：定例会ごと年4回

○発行日：定例会終了後の翌月1日発行

○発行部数：5,800部（7,10,1月発行分）、6,400部（4月発行分）コンテストに出すため

○規格：A4版オフセット印刷2色印刷（表裏カラー）、平均18ページ

○編集体制：定員8名（発行責任者：議長、正副委員長：委員の互選、任期：2年）

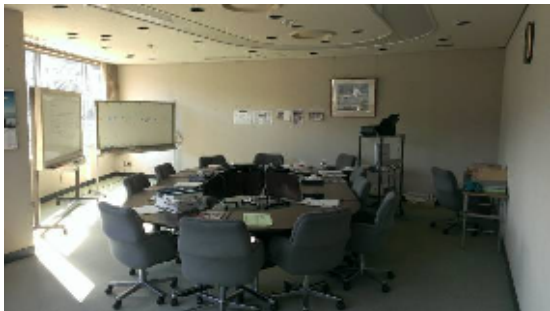
○基本方針：より住民に親しまれ、わかりやすい広報誌づくりを目指している

○議事全体の記載ルール

・文体は「である調」で統一

○一般質問記事のルール



・ 質問は質問者が 100 文字以内にまとめる	
・ 答弁は委員がまとめる	
・ 委員は自らの一般質問は担当しない	
・ 質問 1 問を半ページ 顔写真とあわせて掲載	
・ 2 問目の質問からは顔写真を掲載しない	
○写真について	 議会広報調査特別委員会編集室
・ できるだけ人物を入れた写真とする	
・ キャプション（写真説明）を入れる	
○企画記事について	
・ 議会クイズ	
・ まちの声が聞こえる	
・ ありゃあどうなったんかいのおー（一般質問の追跡調査）	
・ 議会傍聴記	
2. 広報誌発行までのスケジュール	
① 本会議前後に委員会を開催、内容、編集方針、担当を協議	
② 本会議と並行し、一般質問提出者へ原稿依頼など準備作業	
③ 編集作業	
・ 定例会の翌日から約 4 日間（9 時～16 時）	
・ 一般質問のとりまとめ、各記事のレイアウト	
・ 原稿の作成はパソコンで行う	
・ 写真撮影	
④ 4 日目に印刷業者に入稿（16 時）	
⑤ 委員全員による校正（2 回）	
・ 最終校正は委員長、副委員長、事務局で行う	
⑥ 納品まで約 20 日（議会翌月 1 日発行）	
3. 意見交換	
○議会翌月 1 日発行のからくり	

・ 議会の期間が 2 日間（9 月、3 月は 5 日間）
・ 議会の日程が広報誌作成日程に合わせて決まる
・ 一般質問の前に答弁書の閲覧が可能となっている
・ 記事に対する広報委員の権限がある
○記事作成ソフト・・・Microsoft Word
○パソコンの操作教育
みんなで助け合って作成（メイン、サブの 2 名担当）、テンプレートを用意している
○議会クイズについて
・ 議会だよりを読んでもらうために有効
・ 1 回あたり 30～40 名の応募あり
○子供たちが傍聴に来るしくみ
・ 町内 3 つの小学 6 年生が、3 月・9 月・12 月に一般質問を傍聴に来る
・ 一般質問も再質問は 5 回までと決まっており、2 時間で 7 問程度進む
○井原市の議会だよりに対するご意見
・ 「である調」で統一しては。統一感がない。
・ 広聴広報委員にもっと権限を持たせるべきでは。
・ 市民の声をもう少し載せてみては。議会だよりの内容が堅い。
・ 市民目線でどうすべきか考えるべき。
・ 写真をもっと使ってみては。文字ばかりだと読者が読む気がしないのでは。
■福岡県田川郡香春町（10:00～12:00）
1. 香春町議会広報の概要
○委員会の名称：議会広報特別委員会
○広報誌の名称：議会だより かわら
○発行回数：定例会ごと年 4 回
○発行日：定例会終了後の翌月末発行
○発行部数：4,650 部
○編集体制：委員 6 名（3 常任委員会から各 2 名、任期：2 年）



○議事全体の記載ルール
・ 質問、答弁ともに質問者が 1125 文字以内でまとめる
・ 質問者一人につき 1 ページを割り当て顔写真と合わせて掲載
・ 主見出し、中見だしをつける
・ 表紙の写真にはできるだけ人物を入れるようにする
・ 行政用語は一般住民がわかりやすい文言にする
・ 文体は「である調」で統一
○企画記事について
・ かわら あれこれ（町の行事、祭事、議会活動の紹介）
・ 追跡あれはどうなったん。（一般質問の追跡）
・ 読者の声
2. 広報誌発行までのスケジュール（2013年12月議会の場合）
・ 12月4日（水） 議会初日
・ 12月9日（月） 議会最終日 議会だよりの作成日程を調整
・ 12月13日（金） 一般質問者に原稿を渡す
・ 12月20日（金） 広報委員会割当て
・ 12月24日（火） 一般質問者原稿締切
・ 1月8日（水） 広報委員会 校正、編集
・ 1月15日（水） 広報委員会 校正、編集
・ 1月22日（水） 広報委員会 校正、編集
・ 1月23日（木） 議長決裁
・ 1月27日（月） 印刷
・ 1月30日（金） 納品
・ 1月31日（土） 各家庭配付
3. 意見交換
○広報誌の編集について
・ 編集は印刷会社が行っている。経費が増えている。

・写真（特に子ども）を多く使っている。読者を増やすため。
・子どもの写真は平等に載せるように工夫している。（中学校2校・小学校4校）
・議員の写真は実際の一般質問中の写真を掲載している。
○印刷会社との契約について
・1回18ページで年間契約。実際のページ数に応じて年1回変更契約をしている。
・3社の指名競争入札で1社に決めている。（他町業者）
■所感■
・坂町議会では一年生議員は、広報調査特別委員会に必ず所属しなければならないとのことで、広報誌を編集するに当たって、議会を知る上で勉強になるであろうと感じた。
・全国大会コンクールに出展、また、受賞するだけの内容で、読みやすく、委員長が自慢されるのも解らなくでもないが。・・・
・定例会後、翌月発行とのことで時間的にはタイトで、定例会終了後、翌日からの作業は、井原市議会では翌月発行は、考えにくく、現状の発刊でよいのではと感じた。
写真については、非常に参考となり、人物をできるだけ入れるとか、写真説明を入れるとか、井原市議会でも検討の余地はあると感じた。
・4月のみ全面カラー・部数を多いことは全国コンクールを意識してのことで、幾分、コンクールありきでいいのか疑問も感じた。
・香春町議会では、写真の多くが子供たちの写真で、子供たちの親が見てくださるとのことで、良いアイデアであり、参考にすべきと感じた。
・一般質問は議事会場で発言されている写真を使用するので、憐れみがあり、また、質問内容に応じて、広報委員が手分けして、写真を撮るとのことで大変な苦勞を感じた。
・定例会後、翌月末に発行で、業者との連携がうまくいっていると感じた。
・両議会を通じて感じたのは、全国や県の広報研修会に参加され、指摘されることでより読者の方々に読みやすい、親しみの感じる新聞作りに努められていて、井原市議会も参考にし、より多くの読者に読まれる新聞作りに努めていきたい。

1. 報告書は、視察・研修終了後2週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

委員会行政視察報告書

平成 26 年 1 月 23 日提出

井原市議会議長 宮地俊則 様

委員会 広聴広報委員会 報告者 柳井一徳

期 間	平成26年1月16日（木）～平成26年1月17日（金）
出張先及び 担当職員 職名・氏名	広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大畠英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名	上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目	議会だよりの編集・発行について

表題の調査項目についての報告書

1月16日広島県坂町議会を訪ね、議会だよりについて研修を行う。
編集は委員全員が行い、定例会翌日1日には発行し、配布につなげている点は素晴らしいと思う。しかし、定例会が2日間なのと一般質問の議員数が少ないので本市に取り入れることは難しいだろう。

また、町民に読んでいただくための工夫として、子どもの写真を取り入れたり、一般質問よりクイズを出したり（クイズの解答ハガキに要望、提案等を書き込めるようにして議会だよりに掲載している）、小学校6年生が議会を傍聴し、感想文を書き、議会だよりに掲載していることは素晴らしく、全てではないが、見習えることではないだろうか。

翌17日は福岡県香春町議会にて研修した。ここも子どもの写真を利用している。また、編集では委員全員が分担して写真を撮り、原稿を考えている。そして、毎年コンテストに議会だよりを提出して専門家の意見や評価を検証して、改良に努めている点は素晴らしいと思う。レイアウトも大きい文字フォントで案件には必ず写真を使用している。それから面白いのは、一般質問する議員の姿を写真で捉え、質問欄に掲載して、臨場感を出していることで大いに参考になると思う。

最後に、両町で研修した所感としては、本市でも議会だよりのコンテストには参加すべきと思われる。また、両町の議会だよりに共通して目立つのは全体に文字数が少なく視覚に訴

えるようなレイアウトとなっていることと子どもの写真を利用する編集にある。小学生の傍聴の企画などは面白いけれど、本市では会議場に傍聴席が少ないため困難かもしれないが子供を巻き込んだ編集は必要かもしれない。

1. 報告書は、視察・研修終了後2週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

委員会行政視察報告書

平成26年1月3日提出

井原市議会議長

様

報告者

大鳴二郎

委員会 広聴広報委員会

期 間	平成26年1月16日(木)～平成26年1月17日(金)
出張先及び 担当職員 職名・氏名	広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大島英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名	上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目	議会だよりの編集・発行について
坂町議会報告(16日) - 一般質問の中で質問内容の場所が写真で載せあり解り易い。写真が多い(カラー)他の内容も読み易くなっている。 - 子ども達の傍聴も来ている。その議会を見学しての感想などで正直な言葉がでており非常に参考になるのではと思う。 - 学校への対応も良くされている。定例会が2日間にはなっている。 香春町議会報告(17日) - 印象として一般質問の問・答にも文字がまとめられており解り易い。 - 各小学校のその時期の行事を多く取り入れる事であるが自分たちの子どもを載せる事にお親も読んであるう。この方法は参考になった。 - 坂議会・香春町議会共通に言えるのはカラー写真が多い事。 - 子ども達の関連記事を多く取り入れている事であった。	

1. 報告書は、視察・研修終了後2週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

委員会行政視察報告書

平成 26 年 / 月 30 日提出

井原市議会議長 宮地俊則 様

報告者

委員会 広聴広報委員会 井口 勇

期 間	平成 26 年 1 月 16 日 (木) ~ 平成 26 年 1 月 17 日 (金)
出張先及び 担当職員 職名・氏名	広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大島英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名	上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目	議会だよりの編集・発行について
別紙の通り	

1. 報告書は、視察・研修終了後 2 週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

「別紙」

「坂町議会広報紙」発行について

「坂町議会だより」の発行日は基本的に定例会議終了後の翌月 1 日を発行の基本としている。委員の構成は定員 8 名（現在 7 名）とし、編集作業は定例会終了日の翌日から 4 日間以内に一般質問の取りまとめを行い、各記事のレイアウトを行った後、原稿の作成はパソコン、写真撮影（総ての委員で行う）等の作業を分担して行い 4 日後には印刷業者に入稿した後、委員全員による校正（2 回）を行い、最終校正を正副委員長、事務局長が行い月末配布を目標に設定している。

広報委員会の開催は 1 回の発行に付き編集会議は 1 ～ 2 回、編集作業は 4 回、校正作業 3 回に設定し発行を円滑に行っている。

一般質問での質問内容については質問者が取りまとめ、答弁は委員がまとめている。特色としては写真はできるだけ人物を入れるほか、一般質問を参考とした議会クイズを掲載し正解者に対し抽選で 10 名を目途に図書券を交付する等の工夫をこらし、読者に対して議会だより目を向けてもらえるよう工夫している。

定例会においては開会日に報告、議案審議し 2 日目に一般質問が行われ委員会の開催等もなく当市とは大きく異なるが納品まで 20 日間という努力には感心した。

「議会だよりかわら」について

委員会の構成は 6 名、毎定例会終了後の翌月末発行。

一般質問については、定例会終了日に質問者本人に会議録を渡し質問・答弁ともに質問者が決められた字数に取りまとめ 1 週間以内に提出。

委員会の開催は 1 回の発行に付き編集会議 2 回、校正・編集作業 3 回を行っている。

特色としては「かわらあれこれ（町内の行事、祭事、議会活動の紹介）」「町民の声」、「追跡あれはどうなった（一般質問の追跡）」等企画記事を取りいれており、また、予算決算等にも図表・写真を多く使用し読みやすく、親しみやすいよう校正されている。

まとめ

発行時期については、定例会の会期、議会内容も異なるため総てが参考とはならないが、どちらの委員会とも全^国市町村議会、県町村議会議長会主催の広報研修会等へ参加しクリニックを受け読みやすい議会だよりを作成しており内容的にも^は参考になり当市の議会だよりの発行の参考としたい。

委員会行政視察報告書

平成 26 年 年 1 月 月 27 日提出

井原市議会議長

様

報告者

委員会 広聴広報委員会 藤原 清 和

期 間	平成26年 1 月 1 6 日（木）～平成26年 1 月 1 7 日（金）
出張先及び 担当職員 職名・氏名	広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大畠英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名	上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目	議会だよりの編集・発行について
別紙のとおり	

1. 報告書は、視察・研修終了後2週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

平成26年1月27日

広聴広報委員会行政視察報告書

◎日時 平成26年1月16日（木）午前10：00時

視察先 広島県安芸郡坂町

視察内容 議会だよりの編集・発行について

研修担当者

大畠 秀司 柚木 喬 車地 広敏

出下 孝 奥村 富士雄 川本 英輔

主枝 幸子 中川 ゆかり

◎日時 平成26年1月17日（金）午前10：10時

視察先 福岡県田川郡香春町

視察内容 議会だよりの編集・発行について

研修担当者 筒井 澄雄 伊藤 英二 谷川 康之

長田 太一 福田 伝 古木 太一

島ノ江 和生 中山 美枝子 水上 信一

◎行政視察参加者 上野 安是 三輪 順治 宮地 俊則

西村 慎次郎 荒木 謙二 柳井 一徳

井口 勇 大鳴 二郎 藤原 清和

広島県安芸郡坂町

◎議会だよりの編集・発行について

＊議会だよりの編集・発行については、ほぼ似通った手順を踏んでの編集作業を行っていた。

ただ、定例会が開催された翌月の1日付で議会だよりを発行されていることについて、興味を持ちましたが、定例会が2日間で閉会され、後は議会だよりの編集に徹底して取り組むことができる状況であり、理解できました。

4日間集中して午前午後、議会だよりの編集に携わっていること、また、議会クイズ等取り入れて、読んでいただくための努力を全編集委員で実施している点など参考にしていくべきだと考えられる。

また、全議員が交代で編集委員を経験することも参考にすべきであると思います。

◎議会だよりは、単に議会からの情報の提供だけではなく、市民の皆さんからも寄稿していただいたり、情報の提供も掲載できる頁も設けて、市民と一体の議会だよりになっていければと考えます。

福岡県田川郡香春町

◎議会だよりの編集・発行について

＊「かわら 議会だより」第 56 号は、総評で読ませる企画・紙面展開・レイアウトなど編集技術も高水準であり、「かわらあれこれ」「町民の声」「追跡あれはどうなった」など常設企画が多彩で充実していると、高い評価を得ておられた。編集委員の意気込みを感じさせていただきました。

＊表紙に関しては、子供たちの集合写真を掲載することを基本にされているということであり、少しでも多くの方々に見ていただくための気配りもされていました。

＊各年ごとに、全国町村議会 議長会主催の広報研修会に全議員で参加されたり、全国に参加しない年には、他の町村議会へ研修に全員参加で実施するということでした。

◎議会だよりだけが全てではございませんが、市民との情報交換の大きな媒体として、さらなる充実・工夫に努めて行かなければと思います。









委員会行政視察報告書

平成26年1月28日提出

井原市議会議長

様

報告者

宮地俊則

期	間	平成26年1月16日(木)～平成26年1月17日(金)
出張先及び 担当職員 職名・氏名		広島県坂町議会：川本英輔議長、柚木喬委員長、奥村富士雄副委員長、 主枝幸子委員、姫宮五鈴委員、出下孝委員、大畠英司局長、車地広敏主任 福岡県香春町議会：筒井澄雄議長、中山三枝子委員長、谷川康之副委員長、 伊藤英二委員、古木一昭委員、水上信一委員、永田太一委員、福田伝局長、 島ノ江和生課長補佐
出張者氏名		上野安是委員長、三輪順治副委員長、西村慎次郎委員、荒木謙二委員、 柳井一徳委員、大鳴二郎委員、井口勇委員、藤原清和委員、宮地俊則議長
調査項目		議会だよりの編集・発行について
別紙のとおり		

1. 報告書は、視察・研修終了後2週間以内に提出してください。
2. スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

視察概要

◎ 坂町議会

編集について

- ・議会広報調査特別委員会 7 名（定数 8 名）で 4 日間（9 時～16 時）かけて編集作業を行い、1～2 回編集会議を実施。校正は 3 回。
- ・一般質問のページは、質問者が 100 字以内にまとめ、答弁は委員がまとめる。
- ・委員は自らの一般質問は担当しない。
- ・質問（1 問目）を顔写真と合わせて半ページで掲載。（2 問目からは顔写真を掲載しない）
- ・定例会終了後の翌月 1 日発行

紙面づくりで留意している事項

- ・「である調」で統一する。
 - ・タイトルに「～について」を使わない。
 - ・できるだけ人物を入れた写真を使用し、キャプションを入れる。
 - ・議会クイズを掲載し、当選者に景品を出している。
- （議会だよりを読めば答えがわかるようにクイズを作成している）

所感

議員任期中 2 年交代で半数が入れ替わり、4 年で全員が広報委員を経験することとしている。特に新人議員は最初の 2 年間委員になっている。このことは議会だより編集の流れ、苦労等、全議員が共有できる形として見習う点である。

また、一般質問の答弁は委員がまとめること、編集作業を集中して行うなど議会だより作成に誇りと熱意を持って取り組んでいる。何より定例会の翌月 1 日発行にそれが表れている。

◎ 香春町議会

編集について

- ・議会広報常任委員会6名(3常任委員会から各2名)で編集作業を行う。
- ・原稿の作成は、一般質問については、質問者した議員が作成する。
- ・一般質問は質問・答弁ともに質問者本人が1,125文字でまとめる。
- ・議会だより発行までに4回委員会を開催。
- ・編集作業及び編集会議は長時間行わない。
- ・質問者一人につき1ページを割り当て顔写真と合わせて掲載。
- ・定例会終了後の翌月末発行

紙面づくりで留意している事項

- ・議会に関する文体は「である」調で統一する。
- ・主見出し、中見出し（特にタイトルが課題）
- ・表紙の写真には、できるだけ人物を入れるようにする。
- ・行政用語は、一般住民がわかりやすい文言に変更する。
- ・一般質問の顔写真は、毎回撮影する。（左・右・正面の3種類撮影する。）
- ・町の行事や一般質問の追跡など読んでもらうための企画記事を取り入れる。
- ・表紙の写真を撮影するときは、縦向きで撮るようにしている。

所感

表紙に地域の子供たちの写真を入れるなど読者に幅広く見てもらえるよう工夫している点がすばらしい。委員長さんは10年勤められているとのことで並々ならぬ努力と誇りが感じられた。

坂町議会、香春町議会を通して全国レベルの広報研修会に参加し、研鑽を積んでいるなど常に向上心を持って取り組んでおられる姿勢に感銘を受けた。特に常に読者の視点に立って、読者が読みたくなるような紙面づくりを念頭に作られている。当たり前といえば当たり前のことではあるが、井原市議会も今一度このことを共通認識とし、より市民に親しまれる議会だよりを発行してもらいたい。そういった点で今回の視察は大きな収穫が得られたものと思う。

両町議会に感謝いたします。